

関西の上質な演芸文化のために一緒に仲間に入りませんか。

関西演芸推進協議会 <入会のご案内>

関西演芸推進協議会では、関西の演芸を盛り上げ、若手芸人の活躍を支援し、演芸の伝統を守り次世代へと継承していくために様々な活動をしていきたいと思っています。あなたの入会で、まず一歩、参加してもう一歩…と、おひとりおひとりの思いと存在がこの協議会、そして演芸会を活性化します。皆様のご入会はもとより、ご友人、お知り合いの方にもお声をかけいただけましたら幸いです。

■主目的

- 1 定期例会の実施
- 2 関西演芸大賞の設立
(※年に1回大賞を選出)
- 3 芸人のための劇場をつくる

■会員特典

- 1 定期例会に、会員料金で予約できる。
- 2 関西演芸推進協議会が企画する各種交流会、勉強会に参加できる。
- 3 会報誌の発行(年3回)

■会費

入会金	個人会員	2,000円
	賛助会員	20,000円
年会金	個人会員	年間1口 3,000円
	賛助会員	年間1口 30,000円

※いずれも何口でも可能。



(お申し込み方法)
入会申し込み用紙にご記入の上、事務局までFAXか、郵便にてお送り下さい。郵便振替にて、お振込み願います。
(注)4月から翌3月までの1年間有効となります。中途入会も、3月末まで有効。

関西から

文化力
POWER OF CULTURE

関西演芸推進協議会は文化庁の関西元気文化圏事業に参加しています。

関西演芸推進協議会員のご紹介

大阪の歴史、文化である演芸を盛り上げて元気を…

道頓堀、黒門、道具屋筋…歴史、文化と高いが凝縮された街、大阪。商人が文化を育て文化が街ににぎわいをもたらしてきた。その中の一つ大衆演芸を再構築し人に喜んで頂く味のあるプロの芸人さんの育成と応援を、その鍵を握るのは、今たび設立した関西演芸推進協議会とします。皆様のご力で大阪の元気を。まいど おおきに

関西演芸推進協議会
副会長 千田忠司
大阪府中央区南商店会連合会長
千田菓子食器株式会社 代表取締役社長



上方演芸のために、いっしょにがんばります!

関西の演芸会に託す

私、正司敏江はこのたび、落語家でありながらその枠に留まらず、上方演芸全体の復興に挑む桂福団治さんの熱意に共感し、関西演芸協議会員の一人として、共にがんばろうと決意いたしました次第です。関西演芸推進協議会を代表して、皆様のご支援、ご協力を宜しくお願いたします。

みなさん、たのんませ!!
関西演芸協会 正司敏江



「幕が上がった」

ひとりの言葉が大きな渦を巻き起こした。

関西演芸協会・会長 桂福団治師匠から「関西の演芸文化を支えて欲しい」と依頼があったのは三年前。関西で生まれ育った「千房」関西の食文化を継承し、普及に努めてきたが、食と笑い、高と笑いは大阪では切り離せられない関係だ。少しでも力になりたいと思った。お蔭様で今まで人脈に恵まれてきた。しかしこの人脈は決して自分の為に利用してはならないと心掛けてきたが、今こそ「社会の為、大阪の為に力を貸して欲しい」とあつかましく又、強引に協力を依頼した。「関西演芸推進協議会」の誕生である。

嬉しいことにその渦が大きな輪となって動き出した。第一回「笑らびふ」が心斎橋そごう劇場で開催となり、一人ひとりの力の結集によって舞台の幕が上がる。感激の瞬間である。

この幕を決して下ろす事の無いように皆様と共に精一杯支えていく事を自身に誓う。感謝します。

関西演芸推進協議会 専務理事 中井政嗣 (千房株式会社 代表取締役社長)



このコーナーでは演芸にまつわる雑学を紹介します。

楽屋豆知識

「お茶子さんって?」

お茶子さんは、寄席で高座の座布団替えや、見台(けんたい)と名どりの捲りを行う専門の女性スタッフです。小屋、寄席によって役割が多少違いますが、裏方の看板的存在です。



関西演芸推進協議会の公式ウェブサイトができました!

<http://www.walive.org>

イベントのスケジュールや各種ご案内をアップしてまいりますので、ブックマークに登録してくださいね!

会報誌「笑らびふ」への広告掲載も募集中です! お問い合わせは下記まで…

関西演芸推進協議会<事務局>
大阪市浪速区難波中1-10-4 千房株式会社内
TEL.06-6633-1430 FAX.06-6633-1435 info@walive.org



関西演芸推進協議会 会報誌

w a l i v e
笑ライブ

「笑ライブ」とは「笑」、「演」、SHOW(見せる)=LIVE(ライブ)の意味で、「WA」の意味する平和の「和」、みんなの手を繋ぐ「輪」の思いから名づけました。

創刊号 2007年5月

発行/関西演芸推進協議会 編集部
<事務局>大阪市浪速区難波中1-10-4 千房株式会社内
TEL.06-6633-1430 FAX.06-6633-1435
<http://www.walive.org> info@walive.org

ごあいさつ

皆様はじめまして。関西演芸推進協議会の会報誌「笑ライブ」が創刊いたしました。これから、関西のお笑いをはじめ演芸を盛り上げるために、皆様と一緒に作るコミュニケーション・ツールとしてご活用いただければと考えております。今後、様々な催しのご案内やお知らせなどを掲載してまいります。楽しく読んでいただけますように…。

CONTENTS

☆発起人会・定期例会報告	1頁
☆イベントレポート(アブラ演劇)	2頁
☆コシノヒロコさんデザインの法被りができました!	
☆会の発展を一緒に応援してください!	
☆定期例会による笑状別 笑いの処方箋	3頁
(笑い巻 中井政次さん)	
☆協議会入会のご案内 他	4頁

「上方文化の発展のためにご協力をお願いします!」 …… 関西演芸推進協議会 発起人会

昨年末、12月25日。大阪市内のホテルで関西演芸推進協議会発起人が開かれ、約30名が出席しました。関西演芸推進協議会とは、漫才師や講談師など200人余りで作る関西演芸協会の桂福団治会長らが、地元経済界に働きかけ、実現した協議会です。今後、お笑いの街・大阪で、芸能プロダクションの枠を超えて落語、漫才、浪曲など関西の演芸を継承・発展させようと、地元の経済界や演芸関係者が共に取り組んでいきます。毎年の取り組みとしては、「関西演芸大賞」を新設。将来的に関西芸人のための演芸場の建設・運営を構想中です。協議会長には、相互タクシーの小野幸親社長、副会長に桂福団治さん、相談役に藤本義一さんが就任。各界の多彩な方々が様々な角度から演芸会の発展に協力していきます。引き続き、ご入会を募っておりますので、ぜひ、関西の芸能の育成、上方文化の発展に、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

定期例会から…

関西演芸推進協議会 推進会議

関西の演芸を盛り上げようと、今年になって発足した関西演芸推進協議会。早くも協議会の趣旨に賛同いただき、力をお貸し下さるという方が、会議のたびに足を運んでくださり、貴重なご意見をいただいたり、必要な資料を作成したり、様々な作業に携わってくださったり…。皆様にご尽力いただき、おかげ様で回を重ねるごとに内容も充実し、一歩ずつ前進していることを目に見えて感じ、共に支えあって何かを創り上げていくことの喜びを感じています。(この場をお借りしてお礼申し上げます。)今後、協議会の広報活動および、会員様への案内や告知、イベントの企画や集客など、内容も多様に広がっていくことと存じます。引き続き皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



関西演芸推進協議会はたくさんの方に
ご支援、ご協力
いただいています。

若手芸人を育てる支える…関西の演芸会を応援します。



桂福丸師匠の「ねずみ穴」は福丸さんへのエールにも聞こえた。

異色の落語家デビュー

落語家「桂福丸」

異例の経歴を持つ新人落語家のデビューということで、興味を持った。京都大学法学部の出身だという。学問で優秀な成績を修めたとは言っても、「落語」というジャンル、表現力はどうかと、少し斜に見てしまった私は、見事に裏切られることになる。

出し物は古典落語の「桃太郎」。昔話を聞かせて子供を寝かしつけようとする父親が逆に息子にやりこめられるという皮肉な話。

しばらくすると最前列に座っていた子供達が「ケラケラ」と笑いだし、それにつられるように、ひとり、ふたりと…どんどん笑いが連鎖していく。客席との呼吸が合ってくる…これがライブの醍醐味なのか。

弟子入りは何と1ヶ月前と、これまた異例のスピードデビュー！大学卒業後はアルバイトで生計を立てながら稽古場に通り、熱心に稽古を重ねたという。が、1ヶ月！小学生の頃からテレビ番組などで覚えた落語を友人に聞いてもらうのが楽しみだったという。小さいころからそうして身につけてきたのだろう。スピード



出し物は古典落語「桃太郎」。客席からも和やかな笑いが湧き起こった。

アブラ落語会 「桂福丸治プロデューサー門落語会」

2004.3/9(金) 於:高石市民会館(アブラ小ホール)
落語家「桂福丸」さんのデビュー講演が
平成19年3月9日、高石市民会館 アブラ小ホールで行われました。



黄色の落語家デビューということで、プレスも多く駆け付けた。

デビューもうなずける節がある。「テレビで売れるのではなく、純粋に芸を磨きたい」そんなひたむきで自分と芸に厳しい考えを持った青年、桂福丸。師匠である桂福園治氏の計りで作家の藤本義一氏に命名してもらったという。底知れない可能性とたおやかな感性を感じる福丸さんは当協議会のメンバーでもある。今後の活躍を見守り、応援していきたいと思った。

会の発展を… 堀川戎に参拝、祈禱してきました。



▲参拝を終えて…事務局スタッフ

4月3日(火)、当会の発展を願って堀川戎にて会員証を祈禱してまいりました。堀川戎神社は「堀川のえべっさん」としてとして今宮戎神社と称せられ、商売繁盛の神様として親しまれています。

成瀬国清さんのイラストにも描かれているように、「商は笑なり」をテーマに「関西演芸推進協議会」の発展と、「関西の演芸文化の継承を願って、事務局のメンバーが祈願してまいりました。



▲副会長の桂福園治師匠(右)と中井政嗣専務理事(左)

▲会員証(右)も祈禱いただき関西演芸推進協議会の発展を願いました。

コシノヒロコさんデザインのハッピーができました!



高鳴したら 一人な感じですが!

当会を盛り上げるコスチュームとなる法被ができました。会員でもあるデザイナー、コシノヒロコさんによるデザインで、豆絞りやオリジナルロゴなどをあしらった細部までのこだわりと会への思いやりを感じる素敵な法被です。また、この法被のデザインにあたって、貴重なコメントをいただきましたので、紹介いたします。

関西演芸推進協議会 法被デザインについて

友人の中井さんから協議会設立の趣旨をうかがったとき、生粋関西人として、また文化の一端を担っていると自負している者として、是非とも協力したいと思いました。法被のデザインを依頼され、大喜びで楽しくデザインさせていただきました。法被の背中には、必ず紋があります。この紋に、「商」と掛けて関西活性化のポイントとしている「笑」を使いました。従来の法被では、定番の古典文字を紋に使用しますが、軽快さをテーマにした今回は、今ふうの軽い文字を選び、現代的で親しみやすい法被をデザインしたつもりです。芸術・芸能を生み出す感性と、それを享受できる感性、こういった人々の文化力が、社会の豊かさを支えます。協議会の活動を、私の法被でお手伝いできれば本望です。

関西演芸推進協議会 理事 コシノ ヒロコ

イベントレポート

2007年
4/7(土)8日
in とんぼりリバーウォーク

とんぼり桜まつり

桜満開の4月7日(土)、8日(日)の両日行われた「とんぼり桜まつり」に関西演芸推進協議会も参加いたしました。「とんぼり桜まつり」とはとんぼりリバーウォークの会が主催する出展「和と桜」をテーマにしたイベント。出展ブースでは、和傘や着物、雑貨、家具、お菓子やお茶に縁結びのおみくじなどなど、日本の文化の香りに包まれる様々なお店の出展があった他、イベントステージでは着物のファッションショーや雅楽演奏、舞踊など、楽しい企画がいっぱいで、訪れる人も、「和」の空気に包まれて和やかなひとときを過ごされてい



「のりちゃんしゃうちゃん」のライブも…

ました。また、5月13日(日)、関西演芸推進協議会が開催する「笑らひぶ」のイベントに出演予定の漫才師、「のりちゃんしゃうちゃん」もイベントステージで漫才を披露。

我ら、協議会広報スタッフも、出展ブースにて協議会の案内や会員募集を行うなど、和と桜の共演にうっとり心うばわれ、癒される時間を過ごすことができました。



事務局スタッフも協議会の宣伝活動の傍ら和と桜のイベントを楽しみました。

薬剤師による笑状別 笑いの処方箋

笑状A: 笑力減退、愛想笑い、冷笑

周囲の空気は、寒冷。ユーモア値が極端に低く、笑顔が少ない。また、話にオチがなく、愛想笑いや冷笑が、かえってくるだけ。

処方: 「強力笑いナミン」1日朝夕 2回 服用

①最初は顔の運動から。大きく口をあげて「あいうえお」とゆっくり5回言うてから、口の周りや鼻の下の筋肉を伸ばしてください。特に、口の周りと鼻の下はシフができやすいです。顔全体のシフを伸ばしてください。顔のシフと鼻のシフは反比例するからです。シフ伸ばしが、脳を鍛えます。

②「笑いのハイハイ」1日何回でも、人のいない場所で服用「はひふへほ」の順に笑ってください。「ハッハッハッ…」「ヒッピッピッ…」等これは、だれもいない鏡の前で、出来る限り大きな声を出して笑ってください。

効用: 笑顔がもどり、笑い体質に改善されます。

朝は、大きな声を出しますと、1日が爽やかになります。夜は、1日のストレスを笑い飛ばしますので、熟睡が出来ます。

福作用: 周囲にいつも人の輪が出来ます。また、たくさんの福がやってきます。

笑合指導: 笑う門に福来る

③「はひふへほ」の中であなたが一番好きな笑顔(笑っている顔)はどれですか。その笑顔をしっかり鏡の中にイメージしてください。人と接する時にいつもその笑顔をしてください。無理に何かを話そうとしないで、人の話を聞こうとしてみてください。そうすれば、必ず向うからお話されること間違いありません。

笑状B: 笑い中毒(親父ギャグ症候群)

ユーモア値も正常からやや高め、笑顔も多いが、周囲の空気は、平熱

処方: 貼り薬「笑ロンパス」

「関西演芸推進協議会」会員笑を常に携帯し、症状悪化の折、貼付する。会員笑の笑い心得 「其の1~其の5」を毎朝夕大きな声で復唱する。

効用: ①副交感神経を刺激し、免疫力が上がり健康体になる。
②笑顔でコミュニケーション力がアップし、人間関係が円滑に運ぶ。
③ストレスが解消し、人生がより楽しく豊かになる。

福作用: 年会費3000円のお金がいらいます。幸せの近道切符です。



笑合指導: 笑いは百薬の長

④積極的に笑いのイベントに参加してください。本物を見る、聞く機会をたくさんつくってください。ユーモア学を習得出来ます。なんといっても、笑っている人を見ることほど楽しいことはないです。無理無理でなく自然に笑ってください。もっともっと幸せになります。

関西演芸推進協議会 幹事 中井宏次 (健康笑い塾 主宰)

イベント報告&案内

■大阪城イベント

「浪速の春」大阪城にぎわいフェスティバル2007

平成19年5月3日(木・祝)~6日(日) 於:大阪城天守閣前本丸広場

●5/3(木・祝) 14:00~●5/4(金・祝) 5(土・祝) 13:00~●5/6(日・祝) 12:30~

ゴールデンウィークの大阪城・天守閣イベントとして協議会では「笑らひぶ」としてお笑いの席に出演。風靡る5月の空の下で、多くの方に笑っていただきました!



■関西演芸推進協議会

「笑ライブ・プレイイベント」

平成19年5月13日(日) PM2:00開演

於:そごう劇場(そごう心齋橋本店14階)

大阪文化祭への参加事業として、第1回「笑らひぶ」が開催されます。出演者は、漫才師の正可敬江・抱兎をはじめ、落語家・笑福亭仁兵衛、他、演芸、曲芸、若手漫才師による舞台を予定しています。

入場料/前売券3,500円
当日券3,800円

